

令和3年9月10日

タブレットPCを活用した「預り管理システム」の導入について ～お客さまから現金や通帳等をお預りする際のペーパーレス・印鑑レスでの取扱開始～

トモニホールディングスグループの徳島大正銀行は、令和3年9月21日（火）から、タブレットPCを活用した「預り管理システム」を導入しますのでお知らせいたします。

本システムは、お客さまから現金や通帳等をお預りする際、タブレットPCにお預り物件やご依頼事項を登録し、システム上で管理することで預り物件の厳正な管理と業務効率化を実現するものです。また、従来、紙媒体で発行していた「受取書」のお客さまによる管理が不要になるなど、お客さまの負担軽減にもつながります。

当行は、今後もタブレットPCを活用したサービスを順次拡大し、お客さまの利便性向上につながる、質の高いサービスの提供に積極的に取り組んでまいります。

記

1. 預り管理システムの概要

- (1) 「預り管理システム」は、お客さまから一時的に現金や通帳等をお預りする際、「お預り物件」や「ご依頼事項」をタブレットPCで登録することにより、お預りから処理・保管・ご返却までを一元管理し、業務を効率化・厳格化するシステムです。
- (2) お客さまから現金や通帳等をお預りする際は、職員がタブレットPCでお預り情報を登録し、お客さまに登録内容をご確認いただいた後、タブレットPC画面上に電子サインをいただきます。また、ご返却する際も、内容をご確認後にお受け取りの電子サインをいただきます。
- (3) これまで紙媒体の「受取書」を発行しておりましたが、今後は「受取書」の交付に替えて、タブレットPCを使用することで、印鑑レス・ペーパーレスでお手続きが完了するとともに、お客さまが「受取書」を保管・提示いただく手間が不要となり、お客さまの利便性が向上します。
- (4) お預り情報、電子サインは、即時に当行システムに保管され、ご返却までの一連のプロセスをシステムで管理いたします。

2. 開始日

9月21日（火）より本店営業部にて先行導入し、11月以降、12月1日までに全店に順次拡大していく予定です。

以上